

# 国際地理オリンピック台湾大会 (IGEO 2010) 参加報告

専修大学松戸高等学校 泉 貴久

## 1. IGEOの概要と歴史的経緯

国際地理オリンピック (IGEO = International Geography Olympiad) 台湾大会が2010年7月29日～8月4日の7日間、台北北郊に位置する淡水河左岸の町・八里郷の天主教聖心女子高級中学にて開催された。第8回となる今大会 (IGEO 2010) は、世界28か国から105名の高校生が参加し (写真1、p.22)、「マルチメディア」「記述式」「フィールドワーク」の3種類のテストに挑んだ。また、テストのほかにもエクスカッションや文化交流などのプログラムが実施された (表1)。筆者は今回、チームリーダーの1人として4名の日本代表生徒を引率する形で大会参加の機会を得た。

IGEOは、国際地理学連合 (IGU = International Geographical Union) の作業部会 (Task Force) が主催するイベントで、IGU大会と並行して1年おきに開催されている。その目的は「地理教育の世界規模での普及と発展」「地理教育を通じた国際交流の推進」にあり、地理的能力を競うことにとどまらない教育的配慮に基づいた大会運営がなされている。

大会参加資格者は各国の予選を勝ち抜いた16歳～19歳の高校生で、各国とも4名での参加が原則となっている。

表1 IGEO 2010プログラム

| 期日        | おもな内容   |
|-----------|---|
| 7月29日 (木) | 日本チーム台湾入り、開会セレモニー、歓迎パーティー   |
| 7月30日 (金) | 午前：記述式テスト<br>午後：フィールドワークテストについての説明<br>夕刻：カルチュラル・ファンクションⅠ (参加各国生徒による自国文化の紹介)         |
| 7月31日 (土) | 午前：フィールドワークテストⅠ (野外観察と地図作業)<br>午後：フィールドワークテストⅡ (地理的課題の分析)<br>夕刻：エクスカッション (台北・故宮博物院) |
| 8月1日 (日)  | 終日：巡検 (台中・地震博物館、埔里・広興紙寮)  |
| 8月2日 (月)  | 午前：マルチメディアテスト<br>午後：ポスタープレゼンテーション<br>夕刻：エクスカッション (淡水市街地)                            |
| 8月3日 (火)  | 午前～午後：エクスカッション (基隆・野柳地質公園、台北101)<br>夕刻：カルチュラル・ファンクションⅡ (参加各国生徒による自国文化の紹介)           |
| 8月4日 (木)  | 午前：閉会セレモニー、メダル授賞式<br>午後：フェアウェルランチパーティー  |

・全行程終了後、希望者を対象に台湾東部・南部でのエクスカッションが1泊2日と5泊6日の二つのコースで実施された。

成績については、国ごとではなく個人別に発表され、三つのテストの総合得点の上位から順に金・銀・銅のメダリストが決定される。すなわち、IGEOは国家間の競争ではなく、参加生徒個々人がテストを通じて自らの地理的能力を最大限に発揮し、それを深化させていくことを最大のねらいとしているのである。

IGEOの発端は、1965年にエストニアが周辺諸国によびかけて始まった「環バルト海地理競技会」にある。その後、地理競技会は中東欧諸国を中心にヨーロッパ全域へと広がり、それがさかんになるにつれ、大会を全世界に広げようとする機運が高まった。そして、1994年のブラハでのIGU大会時にオランダとポーランドから共同で提案がなされ、その2年後の1996年からのIGEO開催が決定したのである。

IGEOは、発足の経緯からヨーロッパ諸国の参加が多いものの (表2)、大会開催地については、当初のねらい通り世界諸地域へと広がっている (表3)。

表2 IGEO 2010参加国・地域

| 地域    | 参加国・地域 (五十音順)  |
|-------|--|
| アジア   | シンガポール、台湾、トルコ (オブザーバー参加)、日本、香港   |
| ヨーロッパ | イギリス、エストニア、オランダ、クロアチア、スロバキア、スロベニア、チェコ、デンマーク、ドイツ、ハンガリー、フィンランド、ブルガリア、ベラルーシ、ベルギー、ポーランド、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア |
| アフリカ  | チュニジア  |
| 北アメリカ | メキシコ   |
| オセアニア | オーストラリア、ニュージーランド   |

表3 IGEO開催国・地域と開催都市

| 大会名  | 開催年度  | 開催国・地域   | 開催都市  |
|------|-------|----------|-------|
| 第1回  | 1996年 | オランダ     | ハーグ   |
| 第2回  | 1998年 | ポルトガル    | リスボン  |
| ※第3回 | 2000年 | 韓国       | ソウル   |
| 第4回  | 2002年 | 南アフリカ共和国 | ダーバン  |
| 第5回  | 2004年 | ポーランド    | グダンスク |
| 第6回  | 2006年 | オーストラリア  | ブリズベン |
| ※第7回 | 2008年 | チュニジア    | カルタゴ  |
| ※第8回 | 2010年 | 台湾       | 台北    |
| 第9回  | 2012年 | ドイツ      | ケルン   |
| 第10回 | 2013年 | 日本       | 京都    |

- ※は日本が参加した大会。
- 2012年以降は予定。なお、2012年より毎年の開催が決定している。
- 日本がIGEOのホスト国となる2013年の京都大会へ向けてすでに実行委員会が組織され、開催準備が進められている。

## 2. 3種類のテストとその内容

前述したように、IGEOで課されるテストは「マルチメディア」「記述式」「フィールドワーク」の3種類で、それぞれ20%、40%、40%の配点割合となっている。テストは英語での出題、解答が義務づけられている。ただし、非英語圏からの参加生徒に対する便宜を図るために辞書の持ち込みは可能であり、一部の専門用語については、各国のチームリーダーの協議の下で翻訳メモの作成、配布の措置が取られている。ここでは各々のテストの特徴について述べるとともに、「記述式」と「フィールドワーク」については内容の一部を紹介する。

マルチメディアテストは、1分間の制限時間でコンピュータ画面に映し出される図表や写真から地理的知識や概念を読みとり、読みとったことを四つの選択肢と照らし合わせ、一致しているものを選んでいく形式である。実施時間は60分、問題数は40問である。

記述式テストは、実施時間が英語圏参加生徒と非英語圏参加生徒とで異なり、それぞれ150分、180分である。大問は「ブルキナファソでの女性の生活支援」「洪水頻度の経年変化と規則性」「韓国の人口構造の変遷」「諸地形の形成要因と形成過程」「インドの農地開発とハイチの環境問題」「自然災害がもたらす影響」の6テーマが設定されている。系統地理をベースに現代的諸課題が扱われていることから、ここから地理教育のもつ社会的有用性を垣間見ることができる。

表4に記述式テストの問題の具体例を示した。ここからわかるように、地図や統計、写真などの資料を読みとることで地理的課題を見出し、それを科学的に考察することで問題解決へと至るプロセスが重視されている。すなわち、知識や概念をベースに思考力・判断力・表現力の程度を幅広い観点から診断する問題形式となっているのである。

フィールドワークテストはⅠとⅡに分かれ、前者は台北市北投区の淡水河右岸に広がる關渡自然公園にて4時間かけて行われる（写真2）。ちなみに、同公園は河口部に近い汽水域の湿地帯で、多種多様な動植物種の生息地として、また、渡り鳥の飛来地として政府から自然保護区域に指定されている。だが、周辺からの生活・農業排水による水質悪化が懸念され、付近では台北のベッドタウンとしての開発も急速に進んでいる。

Ⅰでは、各国混成6人1組のチームを編成し、チームごとに野外観察を地形図や空中写真を用いて丹念に行う。その後、観察対象となる地形や植生、土地利用などの地

理的現象を、白地図をトレースした透明のシートに各自でまとめていく。

Ⅱでは、「地理的課題の分析」をテーマに設問が組み立てられ、実施時間は記述式テストと同一である。表5に示すように、野外観察の成果をもとに、24種類に及ぶ資料を用いて地域の現状について考察し、その将来像について具体的に提言を行う価値判断・意思決定のプロセスを重視した問題が出題されている。

なお、今大会ではポスタープレゼンテーションが導入された。テーマは各国の地理的特徴及び抱えている課題とされ、事前のポスター作成が条件となっている。その際、関連資料の収集・分析の後、自分たちなりに結論を導き、それをポスターに的確に表現することが求められる（写真3）。プレゼンの審査は各国ごとになされ、優秀作については別途表彰がなされた。

## 3. IGEO 2010での成果

閉会セレモニーでは、9名の金メダリスト、17名の銀メダリスト、27名の銅メダリストが発表され、それぞれ表彰を受けた。日本からは筑波大学附属駒場高等学校3年（当時）の田口厚志君が銅メダルを獲得した。だが、ほかの3人の生徒は十分健闘したものの力及ばず、入賞を果たせなかった。世界標準の地理教育と日本のそれとのギャップを改めて痛感した次第である。以下、生徒たちの大会参加の感想（抜粋）を紹介する。

・正しく表やグラフを読み取ることができれば問題ありません。知識の量より論理的に説明する力が求められます。出題はすべて英語なので読解力、作文力も必要です。大学入試の勉強にもなると思います。

鈴木太郎 多治見西高等学校3年(当時)

・地理の本当の面白さに触れることが出来たように感じます。地理に関する知識よりも、地理にまつわる様々なテーマに対してどのように考えるかという論理的思考力が問われます。

田口厚志 筑波大学附属駒場高等学校3年(当時)

・英語はあくまで自らの考えを伝える道具であって、使えることが当たり前。選手同士の交流の際にはネイティブ並みの英語力が必要だと感じました。

田中雄大 筑波大学附属駒場高等学校2年(当時)

・様々な体験ができたことは非常に意義深いことでした。世界の高校生が一堂に会することは滅多になく、世界を知り日本との差異を実感することができました。

野田和弘 広島学院高等学校3年(当時)



写真1 閉会セレモニー終了後、全参加生徒で記念撮影



写真2 フィールドワークテストで野外観察を行っている生徒たち



写真3 少子高齢化についてのプレゼンテーションを終えた日本代表生徒

彼らの感想からは、国際交流の意義やコミュニケーション手段としての英会話能力の重要性はもとより、地理教育の魅力・本質についての「気づき」を読みとることができる。メダル獲得の有無にかかわらず、4人の生徒たちは、テストを通じて自己の地理的能力をフルに発揮し、国際交流を通じて自らの視野を広げていったのである。

#### 4. APRGEO 2011へ向けて

今年度は7月4日～9日にアジア太平洋地理オリンピック (APRGEO = Asia Pacific Regional Geography Olympiad)

がメキシコで開催される。APRGEOは2007年の初開催以来、今年で3回目を迎える。日本は過去2回の大会に参加するとともに、2009年のつくばでの開催時にはホスト国として大会運営を担った。

国際地理オリンピック日本委員会は、APRGEO 2011に向けて全国19会場にて代表選抜を兼ねた国内選手権一次予選を、独立行政法人 科学技術振興機構などと共催で1月22日に実施した。受験者数は448名と昨年的人数260名を大幅に上回った。3月13日には二次予選を実施し、最終選考の後、3月下旬には4名の日本代表が決定する。

表4 記述式テスト問題の一部 (訳、出題は英語)

#### セクションV. インドの農地開発とハイチの環境問題

- (1) 資料1に示す2枚の写真 (省略) と下記の2つの表 (省略) を手がかりに以下の問いに答えよ。
- ①インドの農業構造の主な特徴について簡潔にまとめよ。
  - ②インドの農業構造がもたらす様々な問題点について循環図を作成せよ。ただし、図には少なくとも5つの要素を取り入れるとともに、最初は「貧困」という言葉で始めること。
  - ③農地の灌漑にあたって農民が直面する問題とは何かを示せ。
- (2) ハイチに関わる3つの資料 (資料2 aはドミニカ共和国との国境付近の衛星写真、2 bは人口推移のグラフ、2 cは国勢についての基礎データ：いずれも省略) を手がかりに以下の問いに答えよ。
- ①ハイチが直面する主な環境問題について示せ。
  - ②①であなたが示した環境問題の要因について説明せよ。
  - ③①であなたが示した環境問題はハイチの市民に深刻な影響を与えているのと同時に、自然環境にも深刻な影響を与えているとされる。その具体例について3つ示せ。

表5 フィールドワークテストIIの問題 (訳、出題は英語)

- (1) 一本のラインを横に引き、その左側を過去、右側を現在と記せ。その上で、關渡湿地帯でこれまでに起こった重大な環境変化についてラインの下に時系列的に記入せよ。その際、その変化が自然発生的なものなのか、人間の開発によるものなのかの区別をすること。
- (2) 1970年代に關渡湿地帯の渡り鳥の生息地を保護するための取り組みが台北市民によってなされた。この取り組みについて与えられた資料 (省略) を用いて分析することで、その功罪について具体的に論ぜよ。
- (3) 關渡湿地帯とその周辺を示した地形図 (省略) に記されたC地点～D地点間の断面図を描け。また、あなたが描いた断面図に主な地理的事象を位置関係に注意しながら記入せよ。
- (4) あなたは都市計画のプランナーとして、關渡湿地帯とその周辺地域の将来像についてプランを立案することになった。プラン立案に際し、自然保護団体、野鳥愛好家、都市開発推進者の意見を踏まえる必要があるが、その場合の争点について4つ挙げよ。その上で望ましい将来像についてあなたの意見を具体的に述べよ。